

ライフラインが止まったら

巨大地震が発生すると**電気・ガス・水道**は長期にわたって使えなくなります
下水管が壊れてトイレも流せなくなる事態も考えましょう

* ライフライン復旧の目途 *

電気・・・早ければ**1週間**、水道・・・**1か月**、ガス・・・**2か月**
この期間どうやって生活を維持するかの対策を考えておきましょう

- 照明** . . . 懐中電灯・ローソク・ランタン・バッテリーでLEDランプ点灯
- 炊飯** . . . カセットコンロ・七輪・練炭コンロ・かまど・ガソリンバーナーなど
プロパンガスが利用できれば申し分なし
- 冷蔵庫** . . . 停電しても3日位は冷蔵機能を維持できる
- 冷暖房** . . . 冬季での災害時には深刻、反射板のある石油ストーブを常備しておくが良い
- トイレ** . . . 水洗に頼らない方法、手段をいろいろ考えておくこと
- 風呂** . . . さあっ~どうする ? ! ? !
- 携帯電話・スマホの充電** . . . とくにスマホは毎日充電が必要・電源の確保は必須

* 電源の確保策 . . . エンジン発電機、車載バッテリー、太陽光発電、ハイブリッド車・電気自動車の利用、本格的な家庭用蓄電システムの導入

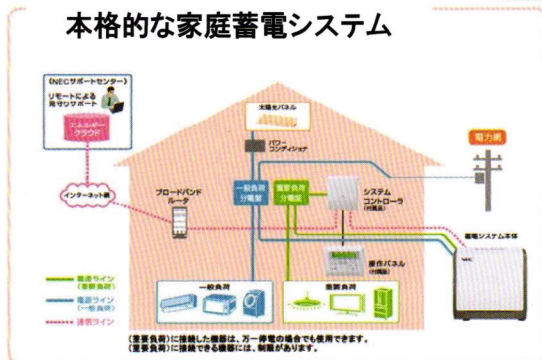
代替電源のいろいろ



エンジン発電機
850W 40.000 円



ソーラー発電キット
55W 40.000 円



高額（補助金制度あり）

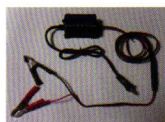


ハイブリッド車
電気自動車
(大容量の蓄電池が利用できる)

車のシガレットライターからも取り出せる



コンバーター



バッテリーチャージャ

自動車用バッテリーを利用する方法

一番安価 15.000 円

必ず来る大地震に対し自助の備えはどのようになっていますか ???
生命・財産を守れますか！！

地震そのとき10のポイント

地震時の行動

1 地震だ！ まず身の安全

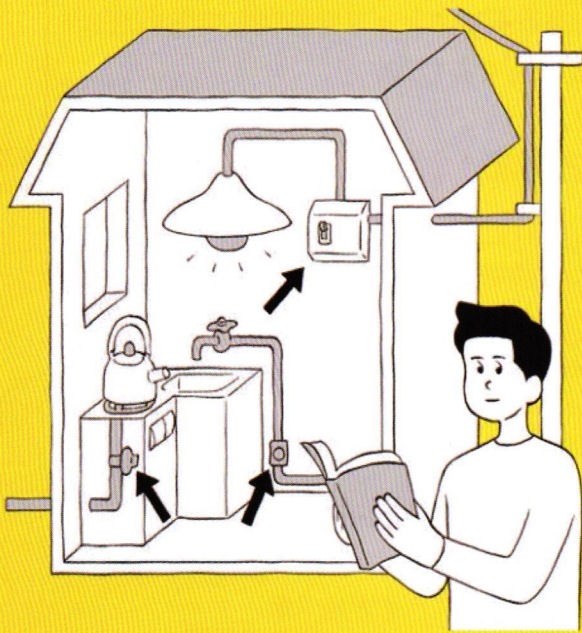
地震直後の行動

- 2 落ち着いて 火の元確認 初期消火
- 3 あわてた行動 ケガのもと
- 4 窓や戸を開け 出口確保
- 5 門や壁には 近寄らない

地震後の行動

- 6 火災や津波 確かな避難
- 7 正しい情報 確かな行動
- 8 確かめあおう 我が家の安全・隣の安否
- 9 協力しあって 救出・救護
- 10 避難の前に 安全確認 電気・ガス

電気・ガス・水道の点検



止め方と復旧の方法を確認

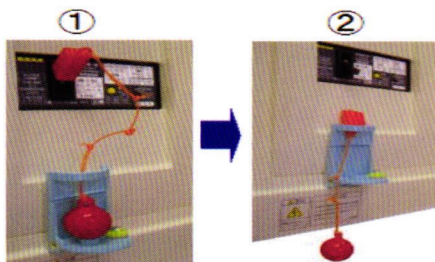
巨大震災時には、電気・ガス・水道が止まることがある。

通常電気は7日、上下水道30日、都市ガスは60日程度での復旧を目標にしている。

避難するときは、電気ブレーカーを落とし、ガス栓と水道メーターの元栓を閉める事。

あらかじめ設置場所を確認し、止め方、復旧の方法を覚えておきましょう。

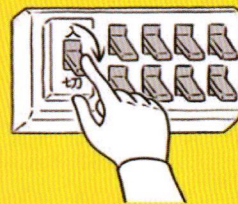
倒れた家財の中にスイッチが入った状態の電気製品があると、通電再開後、火災の原因になるので必ずブレーカーを落とす事。ガス管やガス器具が壊れていると、復旧時にガス漏れを起こし爆発の恐れがある。



ブレーカー断ボール
(3千円前後・アマゾン参照)

優れ物紹介

地震の揺れで重りが落下し重りの重力でブレーカーが落ちる



ブレーカーを落とす



ガスの元栓を閉める

編集後記：今年度も片瀬山では大きな災害に見舞われる事なく、平穏な日々を送る事が出来たかなとホットしている次第です。
”災害は忘れた頃にやってくる”の諺を踏まえて、すでに発行済みの”片瀬山防災だより”を参考に十分な対策を立てて下さい。
今回を持ちまして編集責任者を後任に託します。今後も油断する事なく、呉々も防災に関心を持ち続けて下さい。(和田)



発行:片瀬山防災会

連絡先:メール kataseyama.bousaikai@gmail.com

発行責任者:会長(若月) 編集責任者:広報(和田)